

# 会議結果報告書

1	会議名	第1回戸別収集実験事業意見交換会（小出地区）
2	日時	令和7年7月5日（土）14:00～15:00
3	場所	小出地区コミュニティセンター 大会議室
4	出席者	（資源循環課）垣内課長補佐、八幡主任、尾崎主事 （環境事業センター）富田所長、森所長補佐、角寄技能労務統括主査 （小出地区）参加人数：2人
5	内容	<p>資料に基づき、第1回戸別収集実験事業意見交換会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 戸別収集になり、家の前で各自が管理することになったことで、カラスに荒らされたごみへの対応をする必要がなくなって、よくなった。</li> <li>● 通りすがりに燃やせるごみを出す人が4月以降もいたが、6月ぐらいにはいなくなった。</li> <li>● 分別意識等の変化はないが、ごみ出しが楽になった。</li> <li>● ステーションに落ち葉等が出されてしまうことが何度かあり、排出者を確認したところ、芹沢に家を所有しているがそこに住んでいない方であった。たまに掃除をしに来て、落ち葉等をステーションに出していたようであった。 → 収集する側は、普段は空き家ということであれば、空き家という認識を持ち収集する必要がないと思ってしまうが、そのようなお宅がたまにごみを出すということであれば、収集漏れがないよう注意しなければならない。</li> <li>● 市の花壇を掃除されている方がおり、その方が雑草などをステーションに出していたことがあった。 → 自治会等の地域の活動ということであれば、自治会を介して環境事業センター業務担当に相談いただければ、別便で収集することも可能である。</li> <li>● 道路の草刈りを道路管理課が行ってくればよいのだが、行ってくれていないところがある。自治会から相談したらよいか。 → まちぢから協議会でも対応をしてくださっていると思うが、対応しきれない場所もあると思うため、お気づきのことがあれば道路管理課に相談していただきたい。</li> <li>● 戸別収集を実施したことで、不法投棄に関して変化はない。</li> <li>● 通りすがりのごみ出しに対する対応は改善されつつあるため、ステーションの維持管理に関する負担は軽減されている。</li> <li>● 駅周辺での通りすがりのごみ出しに関する変化はあるか。</li> </ul>

- 茅ヶ崎南地区を対象に行った意見交換会では、ネットボックスなどを戸別収集実験事業の実施にあわせて撤去したことにより、通りすがりにごみを出していくことはなくなっていると確認している。しかし、ネットボックスなどを固定してしまっ  
て撤去することができない場所においては、通りすがりに出されてしまっているよ  
うである。
- 各戸の前に出されたポリバケツなどに通りすがりに出されてしまうという事例  
は聞いたことはあるか。
- 聞いたことがない。
- 戸別収集を継続してほしいと思うが、市の財政負担もあると思う。現在、戸別収  
集を社会実験という形で実施していると思うが、収集車両や収集職員などが追加で  
必要になるのではないか。
- 必要となる。しかし、市が提供する市民サービスの中において、環境部としては、  
戸別収集は必要な市民サービスであると考えている。
- ステーション収集よりも戸別収集の方がよい。ごみ出しが非常に楽で、ステーシ  
ョンの維持管理負担も軽減される。
- 地域によって戸別収集を望む理由は様々あると思うが、住宅が密集しているところ  
では戸別収集に対するニーズはどうか。
- 否定的な意見は少ない印象である。
- 来年の4月以降の燃やせるごみの収集方法はどうか。
- 戸別収集実験事業を実施し、戸別収集の影響や効果を確認し、今後の進め方を検  
討する予定である。
- ステーションに出されたごみへの対応は、自治会長に相談し環境事業センターに  
連絡してもらうという流れで対応すべきか。
- そのようにしていただきたい。
- 夏になると、里山公園のバーベキュー場の来場者がステーションに出さないか心  
配である。

以上